

定理 3.7 命題変数 P_1, P_2, \dots, P_n を含む論理式 $A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ に対して、次の式が成り立つ。 $A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$ 。

【証明】

$A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ が含む論理演算子の数に関する数学的帰納法で証明する。

(基礎) $A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ が論理演算子を含まないと仮定すると、三つの場合が存在する。

$A(P_1, P_2, \dots, P_n) = F$ であるとき、 $A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) = F$ 。定義 3.17 より、

$A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow T \Leftrightarrow \neg F \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$ である。

$A(P_1, P_2, \dots, P_n) = T$ であるとき、 $A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) = T$ 。定義 3.17 より、

$A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow F \Leftrightarrow \neg T \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$ である。

$A(P_1, P_2, \dots, P_n) = P_i$ ($1 \leq i \leq n$) であるとき、 $A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) = \neg P_i$ 。

定義 3.17 より、 $A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow P_i \Leftrightarrow \neg(\neg P_i) \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$ である。

以上により、 $A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ が論理演算子を含まないときには、

$A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$ が成り立つ。

[仮定] $A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ が m 個以下の論理演算子を含むとき、式

$$A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$$

が成り立つと仮定する。

[帰納ステップ] $A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ が $m+1$ 個の論理演算子を含むとき、三つの場合が存在する。

ある m 個以下の論理演算子を含む論理式 $B(P_1, P_2, \dots, P_n)$ に対して、

$A(P_1, P_2, \dots, P_n) = \neg B(P_1, P_2, \dots, P_n)$ であるとき、

$$A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow (\neg B(P_1, P_2, \dots, P_n))^*$$

(定義 3.17 より) $\Leftrightarrow \neg B^*(P_1, P_2, \dots, P_n)$

(仮定により) $\Leftrightarrow \neg(\neg B(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n))$

$$\Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$$

ある m 個以下の論理演算子を含む論理式 $B(P_1, P_2, \dots, P_n)$ と $C(P_1, P_2, \dots, P_n)$

に対して、 $A(P_1, P_2, \dots, P_n) = B(P_1, P_2, \dots, P_n) \vee C(P_1, P_2, \dots, P_n)$ であるとき、

$$A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow (B(P_1, P_2, \dots, P_n) \vee C(P_1, P_2, \dots, P_n))^*$$

$$(\text{定義 3.17 より}) \quad \Leftrightarrow B^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \wedge C^*(P_1, P_2, \dots, P_n)$$

$$\begin{aligned} (\text{仮定により}) \quad & \Leftrightarrow \neg B(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) \wedge \neg C(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) \\ & \Leftrightarrow \neg(B(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) \vee C(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)) \\ & \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) \end{aligned}$$

$A(P_1, P_2, \dots, P_n) = B(P_1, P_2, \dots, P_n) \wedge C(P_1, P_2, \dots, P_n)$ であるときも, と同様に証明できる。

以上の[仮定]と[帰納ステップ]により, $A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ が m 個の論理演算子を含むときに, $A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$ が成立すると仮定すると, $m+1$ 個の論理演算子を含む $A(P_1, P_2, \dots, P_n)$ に対して,

$$A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n) \text{ が成立する。}$$

以上により, 常に $A^*(P_1, P_2, \dots, P_n) \Leftrightarrow \neg A(\neg P_1, \neg P_2, \dots, \neg P_n)$ が成立する。